

助け合いが成長の源



社屋の前でガッツポーズ

近畿刃物工業は段ボール加工刃物の専門メーカーとして、「笑って働ける会社」を掲げて、健康経営を推進している。取り組みの原点は社長自身の大病経験だ。家族の支えの大切さを痛感し、社員に健康を守る必要性を強く意識したという。現在はがん保険の導入や勤務間インターバル制度の整備など、福利厚生を充実を進めている。同社が重視するのは労使の信頼関係だ。社員も私も生活者。会社は生活のために働く場所。前向きに働けば幸せになれる。社長。有休取得も奨励し、家庭を優先する姿勢を認め合う文化を育ててきた。一方で「自分が休むときは誰かを支えてくれる。助け合いが職場を成り立たせる」と伝え、社員も理解も深まっている。

決算月の5月には、社員と家族全員へ鶏料理の詰め合わせを贈る予定で、感謝を形にする取り組みも行う。

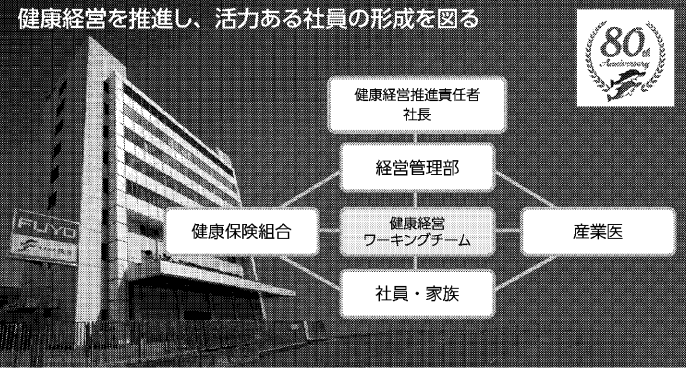
近畿刃物工業株式会社

〒570-0003 大阪府守口市大日町3丁目33番12号
TEL: 06-6901-1221 FAX: 06-6905-9713



<https://www.kinkihamono.co.jp/>

人を中心にした経営を実践



健康経営を推進し、活力ある社員の形成を図る

扶洋は「循環」グリーン・エコ「ソリューション」の3つのビジネスモデルを網羅する技術商社。2027年2月に創業80周年を迎える同社は、デジタルが社会や産業を大きく変えるこれからのビジネスを見据え、「スピードと組織力」により顧客ニーズに最適なソリューションを提供している。「顧客尊重」「人間尊重」「能力尊重」を社会として、日々の生活においてやりがいや働き甲斐のある健やかな職場環境づくりに努めている。働きやすい職場環境づくりの「環」として「FMS社員健康推進ワーキングチーム」を組織し、就業環境やメンタルケアだけでなく、ウォーキングイベントを企画したり、栄養改善として有機野菜を支給するなど、社員の心の健康、体の健康、職場環境の整備を通じて、活力あふれる社員を創り、人を中心にした経営を実践することで健康経営を推進している。

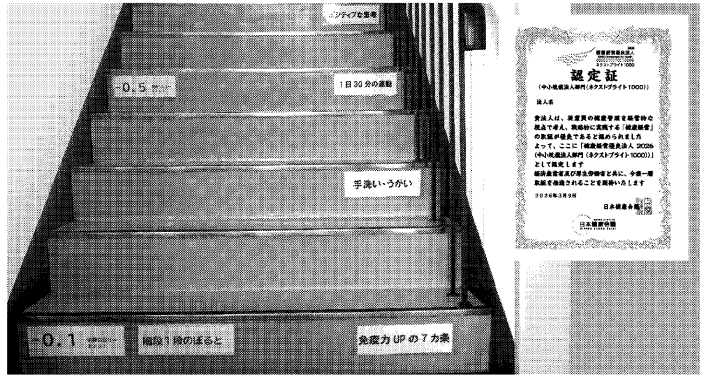
株式会社扶洋

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西1-8-17
TEL: 06-6643-2411 FAX: 06-6643-3767



<https://fuyo.co.jp/>

~100年企業に向けて~ 従業員の健康とともに成長を続ける



富士電波工業は工業用電気炉の専門メーカーとして高度な加熱技術を提供し、健康経営や国際人材交流にも積極的に取り組んでいる。創業以来、日本の金属工業や半導体産業の発展を支え、現在はエコカー部材など環境分野にも技術が生かされていく。工業炉の製造に加え、特殊鋼鑄造品の生産や加熱実験の受託、熱解析ソフトの開発など多岐にわたる事業を展開している。働きやすさと健康を重視し、2020年に健康宣言を発表。翌年から健康経営優良法人認定を取得し続け、26年度は「ネクストプライト1000」に選ばれた。従業員の健康と生産性向上の両立を図り、医療保険への加入や休日増加など福利厚生制度の拡充を進めている。

また、国際化に向けてハノイ工科大学と連携協定を結び、ベトナム人材との交流と採用を進めており、「和と挑戦の理念のもと誰かが元気で安心して働ける職場づくりを目指している。

富士電波工業株式会社

〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目4番36号
TEL: 06-6394-1151 FAX: 06-6394-1156



<https://www.fujidempa.co.jp/>

健康経営で“人を大切にする経営”を推進



社員とともにガッツポーズ

東大阪市の特殊ボールメーカー、木田バルブ・ボールが健康経営優良法人2026「ネクストプライト1000」に選ばれた。同社は2019年から7年連続で認定を受け、「人を大切にする経営」を軸に事業を進めてきた。バルブ業界は原材料価格や為替、プラント投資の変動など外部環境の影響を受けやすい。同社はその中で「変動するもの」と「変わらないもの」を区別し、人への投資こそ品質と信頼を生む。この考えを経営の中心に据えている。象徴的なのが、27年から試験導入する週休3日制だ。社員の健康や学び、家庭・地域との関わりを増やし、長期的な競争力向上を狙う。木田浩臣社長は「品質をつくるのは人。その人が元気であることが最も重要」と語る。同社は今後も健康経営と働き方改革を両輪に、誠実なものづくりを軸とした成長戦略を進める方針だ。

木田バルブ・ボール株式会社

〒578-0932 大阪府東大阪市玉串町東3丁目1番36号
TEL: 072-963-2441 FAX: 072-963-5812



<https://www.kvb.jp>

社員の健康重視し働きやすい職場づくり



本社前で示す健やかな職場

辰巳工業はニッケル合金など特殊金属素材を中心とした鑄造品メーカーで、100鋼種以上の特殊鑄造品を手がけ、ポンプやミキサ、バルブなど多岐にわたる業界へ製品を供給している。

10年以上にわたる、社員の健康維持・増進に向けた施策を継続しており、本年度も経済産業省が推進する「健康経営優良法人認定制度」において、「中小規模法人部門」で認定を受けた。同社では毎月1回の産業界訪問を実施。希望する社員が気軽に面談できる体制を整えるほか、職場巡回も早い。現場の健康リスクを早期に把握・改善している。また昨年引き続き社員全員を対象に、熱中症対策の講義も実施。保護員をつけながらのように対策するかに焦点が当てられた。さらにインフルエンザ予防接種を社内で受けられるようにし、費用も補助している。今後社員も健康経営を継続していく。

辰巳工業株式会社

〒568-0095 大阪府茨木市佐保4番8号地
TEL: 072-649-2341 FAX: 072-649-0562



<https://tatsumi-cast.co.jp/>

無理のない取り組みで 老若男女が働ける会社づくり



高いチームワークで社内活動に取り組む

中川製作所は多様な素材の加工を手がける切削加工メーカー。高精度加工を強みに、品質の高さを顧客から厚い信頼を得てきた。社内では以前から登山部が自主的に活動するなど健康意識が根付いており、2022年度から健康経営優良法人に認定され、本年度はネクストプライト1000にも選ばれた。

現在は「ゆるく、かまらなく、あるく」をテーマにした社内企画「くるくるウォーク」を毎月実施。歩数を集計して応募すると抽選でプレゼントが当たる仕組みで、社員の参加意欲も高い。

業務では高い精度が求められるからこそ、社内活動は「ゆるく、楽しむ」を重視。社内イベントには若手社員の参加も活発で、「老若男女が働ける会社づくり」という理念が着実に形になりつつある。今後も安心して働ける環境づくりと顧客サービスの向上を目指す。

株式会社中川製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北2丁目4番10号
TEL: 06-6754-3600 FAX: 06-6754-3601



<https://www.nakagawa-fact.com/>

働く人が元気なら、会社も元気! 関西発「健康経営」の旗手たち



働く人の健康を守ることは、企業の持続的な成長に不可欠な要素です。近年、従業員の健康管理を経営的視点から捉え、戦略的に取り組む「健康経営」が注目を集めています。これは単に福利厚生を充実させるとどまらず、企業の生産性向上、離職率の低下、職場の活性化など、経営全体にポジティブな影響をもたらす取り組みです。

日本健康会議が認定する「健康経営優良法人」は、こうした取り組みを積極的に実践している企業に与えられ、企業の信頼性や社会的価値を示す重要な指標となっています。特に中小企業においては、限られた資源の中で創意工夫を凝らし、地域に根ざした健康経営を実践している事例が数多く存在します。

本特集では関西地域で「健康経営優良法人」の認定を受けた企業に焦点を当て、取り組んだ背景や具体的な施策、成果、地域社会との関わりなどを紹介します。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。